

2024
3

NEWS LETTER

第 25 号

丹波市社会福祉協議会 柏原支所

topics



スマホの使い方講座



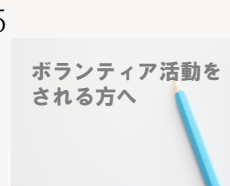
サロンボランティア
研修会



あったらいいな
を話し合う



社協ふくしまつり



ボランティア保険

1 スマホでボランティア活動を豊かに

1月23日・2月1日、柏原町のボランティアの方を対象に、スマホの使い方講座を開催しました。

一般社団法人KOBENET企画の方を講師としてお招きし、電源の入れ方、電話のかけ方、マイナンバーカードの活用、LINEの使い方など2日間で4種類の内容を教えてくださいました。4回で延べ21名の方の参加があり、少人数ではありましたが、ほぼマンツーマンでそれぞれお持ちのスマホに合わせた操作方法などを教えてくださいました。

4回では全てを理解するのは難しかったと思いますが、今後スマホを活用し、ご自身の生活やボランティア活動をますます楽しく、活発にしていけたら幸いです。



2 「できない」を楽しむ！



3月8日、サロンボランティア研修会を開催しました。TISスクールの高橋祐樹氏を講師としてお招きし、ライフキネティックという脳トレと運動を組み合わせた新しいエクササイズを教えてくださいました。頭で考えながら体を動かし、2つの異なることを同時に行うことで認知症予防やストレス減少など様々な効果が期待できるエクササイズで、皆さん「できへんな～」と言いながらも楽しく取り組んでおられました。

研修の後は、ご自身のサロンの実施方法や悩みをお話いただき、参加者同士で意見交換を行いました。アンケートからは「具体的なやり方が分かって今後の参考になった」「色々な地域との情報交換ができてよかった」などの声がありました。

3 「あったらいいな」を話し合う

立ち上げから5年半が経過し、様々な取り組みを行ってきた柏原地域支えあい推進会議。これまでの取り組みを振り返り、整理するため、再度地域課題の協議を行いました。

第33回柏原地域支えあい推進会議では、地域課題に対して「あったらいいな」「もっとこうしたらいいのに…」と思うアイデアをブレインストーミングを用いて、自由な発想で出し合い、150を超えるアイデアが出されました。

出されたアイデアには、新たな取り組みはもちろんのこと、ひとつの取り組みであらゆる課題にアプローチする多機能的なもの、現在行われてる取り組みを少し変えるだけで広がりが見られるものなど、多種多様なアイデアがありました。今後は、グルーピング等を通じて整理し、「柏原地域支えあい推進会議としてできること」に向けて協議を進めていきます。



4 認知症・・・地域で支えあうことの大切さを伝えたい

3月9日、春日文化ホールにて社協ふくしまつりを開催しました。午前の部の映画『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえり、お母さん～』では約550名以上の方が鑑賞され、午後の部では約350名以上の参加があり、式典は社協会長表彰を行い、その後の講演会は映画監督の信友直子さんに講演をしていただきました。介護を1人で抱え込まない、地域のつながりの大切さについてお話いただきました。

また、屋外の障がい者就労支援事業所の販売ブースでは完売が続出し、会場の能登半島地震災害義援金にも多くの方にご協力いただきました。雪が舞う大変寒い天気ではありましたが、ご来場いただいた皆さま、またご支援いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



5 ボランティア活動をされる方へ

当会は、兵庫県ボランティア・市民活動災害共済（以下ボランティア保険）の受付窓口となっています。この保険は加入されたボランティアの方が自発的な意思に基づき、日本国内において他人や地域・社会に貢献するなど社会的に意義があるボランティア活動中（往復途上を含む）の万が一の事故に備えるためのもので、ボランティア活動をされる際は加入をお勧めしています。

補償期間は、加入手続き完了日の翌日から2025年3月31日までとなっていますので、まだ加入手続きがお済でない方は、当会窓口までお越しください。

